

論文名	高齢者デイサービスの利用者を対象とした園芸療法の効果
著者名	豊田正博,牧村聡子,天野玉記,曾賀佐代子
雑誌名	日本認知症ケア学会誌
巻/号/頁/年	9/1/9-17/2010
抄録	<p>本研究では、デイサービスを利用する高齢者のうち、認知機能の低下傾向がみられる6人に対して、週1回、3か月間の園芸療法を行い、その効果を客観的な尺度から考察した。対象者には、園芸療法導入時に国際生活機能分類(ICF)を基盤とした評価を行い、園芸療法の目標を、意欲、認知機能、コミュニケーション能力の維持・向上とした。園芸療法の導入前後では、意欲、認知機能、生活の質、介護負担度などに関する既存の評価尺度を用い、導入期間中は独自に開発した淡路式園芸療法評価表(AHTAS)を用いて評価した。既存の評価尺度で評点上昇がみられた人は、AHTAS 同項目の評点も高くなる傾向があり、園芸療法の効果が意欲、認知機能、生活の質などに反映された結果であると考えられた。また、対象者6人中5人で介護負担度が減少したことから、園芸療法の効果が対象者のみならず、介護者へも及ぶことが示唆された。</p>
キーワード	高齢者 / デイサービス / 園芸療法 / 効果 / 淡路式園芸療法評価表